

氏名： 藤田 宗和
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 教授
学位： 修士
専門分野： 犯罪非行臨床心理学、臨床心理査定
E-mail： fujita.munekazu@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

心理査定／投映法 (TAT) ／犯罪・非行

◆研究内容 / Research Pursuits

- 1 投映法である T A T 物語産出の基礎過程を実験的研究し、その産出プロセスを形式的、内容的に分析し、分析・解釈のための標準的な資料を収集した。現在、その資料を分析中であり、2007,2008,2009 には日本ロールシャッハ学会において、「TAT の物語産出時の思考プロセスの検討」という題目で、標準的な物語産出プロセス、物語内容の特色の一部を発表した。本年度も継続して、分析結果を公表する予定である。
- 2 最近の犯罪・非行とその背景にある自己愛の病理をキーワードとして、その心理機制について読み解く。

◆教育内容 / Educational Pursuits

生活科学部・人間生活学科・発達臨床心理学講座における教育内容：「発達臨床人格検査法」，「発達臨床基礎演習」，「発達講義購読」，「発達臨床論文演習」等を教授

大学院人間文化創成科学研究科・人間発達科学専攻（発達臨床心理学コース）における教育内容：「非行臨床心理学特論」，「臨床心理査定演習（実践）」，「発達社会科学論」，「特別研究」等を教授

学部，大学院とも，臨床心理学における心理査定を中心に教授している

◆研究計画

1 臨床心理査定のツールとしての TAT の研究

特に人間関係の問題に敏感である T A T（主題統覚検査）の標準的分析，解釈法を確立する。大学では，物語産出の基礎過程を実験的研究し，分析・解釈のための標準的な資料を作成している。今後は臨床施設と共同して臨床群の資料を収集していきたい。

2 非行の背景にある現代青少年の意識についての研究

非行の裏側に見えてくる現代青少年の意識について，自己愛をキーワードとして，検討する。

◆メッセージ

学部，大学院とも，臨床心理学，特に心理査定の理論と実践を中心に研究，教授しています。また，これらの成果を援用して，特に犯罪，非行領域において，犯罪者や非行少年の主観的な世界を描き出す中で，その原因，背景を解き明かし，彼らの更生を図るための手がかりを探求しています。

具体的には，心理査定において関心のあるものは，T A T という投映法テストで，その標準的な分析，解釈法を開発することが研究テーマです。また，犯罪の鑑定の実践を通して，最近の犯罪の質的な変化を検討する中で，現代日本人の意識の変化についても関心を広げています。